2026年度（2027年３月期）
中間決算の概要

2026年11月13日

大光銀行

目　　次

Ⅰ．2026年度(2027年３月期)中間決算の概要

１．損益状況(単体)

（１）コア業務純益 …… １

（２）経常利益 …… ２

（３）中間純利益 …… ３

２．業務計数(単体)

（１）貸出金 …… ４

（２）預金等・預り資産 …… ５

３．金融再生法開示債権及びリスク管理債権(単体) …… ６

４．自己資本比率(連結・単体) …… ７

Ⅱ．2026年度(2027年３月期)業績予想(連結・単体)及び配当予想 …… ８

※本資料の前年同期比・増減率欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

Ⅰ．2026年度（2027年３月期）中間決算の概要

１．損益状況（単体）

（１）コア業務純益

〇コア業務純益（除く投資信託解約損益）は、前年同期比９億６百万円増加し、３７億４０百万円

資金利益（除く投資信託解約損益）や役務取引等利益が増加したことなどにより、前年同期比で増益となった。

〇コア業務純益は、前年同期比７億８８百万円増加し、３７億８８百万円

（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	3,740	2,834	906
コア業務純益	3,788	3,000	788

コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

〇主な増益要因　（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
資金利益（除く投資信託解約損益）	9,318	8,483	835
役務取引等利益	908	642	266

〇主な減益要因　（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
経費	6,497	6,304	193
うち人件費	3,707	3,571	136
うち物件費	2,416	2,328	88

＜参考＞資金利益（除く投資信託解約損益）の変動内訳　（単位：百万円）

項　目		2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
資金利益（除く投資信託解約損益）	（①＋④＋⑤）	9,318	8,483	835
預貸差利益	①（②－③）	6,367	6,036	331
貸出金利息	②	9,092	7,419	1,673
預金等利息（※）	③	2,725	1,383	1,342
有価証券利息配当金（除く投資信託解約損益）	④	2,443	2,186	257
その他	⑤	508	261	247

（※）預金等利息＝預金利息＋譲渡性預金利息

【参考】投資信託解約損益	48	166	△ 118

（2）経常利益

○経常利益は、前年同期比3億56百万円増加し、27億11百万円

実質与信関係費用は増加したものの、コア業務純益（除く投資信託解約損益）や有価証券関係損益の増加などにより、前年同期比で増益となった。

（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
経　常　利　益	2,711	2,355	356

○主な増益要因

（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	3,740	2,834	906
有価証券関係損益	2	△ 131	133

＜参考１＞有価証券関係損益の変動内訳

（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
有価証券関係損益（①＋②＋③＋④）	2	△ 131	133
①国債等債券関係損益	△ 550	△ 574	24
②株式等関係損益	541	230	311
③投資信託解約損益	48	166	△ 118
④金銭の信託等の運用損益	△ 36	46	△ 82

○主な減益要因

（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
実質与信関係費用	1,080	320	760

＜参考２＞実質与信関係費用の変動内訳

（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
実質与信関係費用(①＋②－③－④)	1,080	320	760
①一般貸倒引当金繰入額	－	61	△ 61
②不良債権処理額	1,225	296	929
うち個別貸倒引当金繰入額	－	207	△ 207
うち貸出金償却	1,195	41	1,154
うち偶発損失引当金繰入額	30	47	△ 17
③貸倒引当金戻入益 (△)	66	－	66
④償却債権取立益 (△)	79	37	42

（3）中間純利益

○中間純利益は、前年同期比4億86百万円増加し、19億86百万円

（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
中　間　純　利　益	1,986	1,500	486

○主な増益要因

（単位：百万円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)
特別損益	2	△ 74	76
税金費用	727	779	△ 52

【2026年9月期の損益状況（単体）】

（単位：億円）

項　目	2026年9月期 (A)	2025年9月期 (B)	前年同期比 (A)－(B)	中間業績予想 (C)	業績予想比 (A)－(C)
コア業務粗利益(除く投資信託解約損益)	102.3	91.3	11.0	95.9	6.4
うち資金利益(除く投資信託解約損益)	93.1	84.8	8.3	88.3	4.8
うち役務取引等利益	9.0	6.4	2.6	7.5	1.5
経費　（△）	64.9	63.0	1.9	66.6	△ 1.7
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	37.4	28.3	9.1	29.3	8.1
有価証券関係損益	0.0	△ 1.3	1.3	△ 3.5	3.5
実質与信関係費用　（△）	10.8	3.2	7.6	3.1	7.7
経常利益	27.1	23.5	3.6	23.0	4.1
中間純利益	19.8	15.0	4.8	15.5	4.3

コア業務粗利益(除く投資信託解約損益)＝業務粗利益－国債等債券関係損益－投資信託解約損益
コア業務純益(除く投資信託解約損益)　＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額－投資信託解約損益
＝コア業務粗利益(除く投資信託解約損益)－経費

2. 業務計数(単体)
(1)貸出金

○貸出金残高は、前年同期比332億円(2．8%)増加し、1兆1，977億円
中小企業向け貸出が増加したほか、住宅ローンの増加などにより個人向け貸出が増加した。

(単位：億円)

項　目	2026年9月末 (A)	2025年9月末 (B)	前年同期比 (C) (A)－(B)	増減率 (C)／(B)
貸出金残高	11,977	11,645	332	2.8 %
うち中小企業向け貸出	5,367	5,227	140	2.6 %
うち個人向け貸出	4,007	3,877	130	3.3 %
うち住宅ローン	3,722	3,601	121	3.3 %
うち地公体向け貸出	1,220	1,190	30	2.5 %

（2）預金等・預り資産

○預金等残高は、前年同期比212億円（1．4%）増加し、1兆5，163億円
法人預金が大きく増加したほか、個人預金が増加した。

○預り資産残高は、前年同期比272億円（14．2%）増加し、2，187億円
資産形成・資産運用のニーズにお応えし、投資信託、公共債が増加した。

（単位：億円）

項　目	2026年9月末 (A)	2025年9月末 (B)	前年同期比 (C) (A)－(B)	増減率 (C)／(B)
預金等残高（※）	15，163	14，951	212	1．4 %
うち個人	10，010	9，963	47	0．4 %
うち法人	4，310	4，038	272	6．7 %
うち公金	772	925	△ 153	△ 16．5 %

（※）預金等残高＝預金残高＋譲渡性預金残高

（単位：億円）

項　目	2026年9月末 (A)	2025年9月末 (B)	前年同期比 (C) (A)－(B)	増減率 (C)／(B)
預り資産残高	2，187	1，915	272	14．2 %
投資信託	1，107	879	228	25．9 %
公共債	152	109	43	39．4 %
生命保険	927	927	0	0．0 %

3. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権（単体）

○不良債権額は、前年同期比35億円減少し、238億円
　お取引先への積極的な経営改善支援活動などにより、危険債権が減少した。

○不良債権比率は、前年同期比0．34ポイント低下の1．97％

（単位：億円）

項　目	2026年9月末	2026年3月末比	2025年9月末比	2026年3月末	2025年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29	△ 7	△ 7	36	36
破綻先債権	3	△ 2	△ 1	5	4
実質破綻先債権	26	△ 4	△ 5	30	31
危険債権	208	△ 22	△ 28	230	236
要管理債権	0	0	0	0	0
小計　(A)	238	△ 29	△ 35	267	273
正常債権	11,889	64	336	11,825	11,553
債権額合計　(B)	12,127	34	301	12,093	11,826
不良債権比率　(A)/(B)	1.97 %	△ 0.24 ポイント	△ 0.34 ポイント	2.21 %	2.31 %

4. 自己資本比率（連結・単体）

○自己資本比率は、連結が前年同期比0．01ポイント上昇し、8．75％。
　単体が前年同期比横ばいの８．70％

自己資本額（分子）の増加は、利益の積上げなどによる。
リスク・アセット（分母）は、積極的な営業推進による貸出金の増加などにより増加した。

○ 連結・単体のいずれも規制値（4％）を大きく上回っており、十分な水準

（単位：億円）

項　目		2026年9月末	2026年3月末比	2025年9月末比	2026年3月末	2025年9月末
連結	自己資本比率	8.75 %	0.20 ポイント	0.01 ポイント	8.55 %	8.74 %
	自己資本額	784	11	17	773	767
	リスク・アセット	8,961	△ 76	189	9,037	8,772
単体	自己資本比率	8.70 %	0.19 ポイント	0.00 ポイント	8.51 %	8.70 %
	自己資本額	777	10	16	767	761
	リスク・アセット	8,935	△ 76	187	9,011	8,748

Ⅱ．2026年度(2027年3月期)業績予想(連結･単体)及び配当予想

【業績予想】

2027年3月期通期の業績予想（連結・単体）につきましては、2026年5月15日公表の予想に対し、実質与信関係費用の増加は当中間期においてトップライン収益の増加により吸収が図られておりますが、今後の市場変動要因や信用リスク面での損失処理を一定程度見込んでいることなどにより、予想を据え置いております。

・連結

（単位：百万円）

	2027年3月期予想	2026年3月期実績	2026年3月期比
経常収益	29,030	29,344	△ 314
経常利益	4,840	4,067	773
当期純利益	3,300	2,799	501

※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益であります。

・単体

（単位：百万円）

	2027年3月期予想	2026年3月期実績	2026年3月期比
経常収益	28,430	28,858	△ 428
経常利益	4,650	3,954	696
当期純利益	3,180	2,749	431

【配当予想】

	年間配当金		
	中間	期末	合計
2026年3月期	35円00銭	54円00銭	89円00銭
2027年3月期	53円00銭		
2027年3月期（予想）		53円00銭	106円00銭

（注）上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。